

平成 30 年度事業計画書

1.基本方針

平成 29 年度一年を通じようやく本格的に事業をすすめ、「できることから始める」ことを押し進めた結果、小さな芽が吹き出た感があります。

できることから始めるという強い決意の元、ジャーナリスト池上正樹氏並びに引きこもり経験者の恩田氏、室井氏の二人を招き「ひきこもりを考える in 宇治シンポジウム」を開催し、「茶話会」を再開催、市民の会エスポワール京都さんと共催で「8050 問題を生きる」という家族会を 2 回開催し、今年もチャレンジの一年と位置づけ活動してまいります。

2.事業活動の計画

1) イベントの計画

- ①今年度は京都府並びに宇治市の就労支援課、学習支援課とのタイアップにより事業を強化。
- ②京都府こどもの城作り事業、並びに子ども食堂への支援とのタイアップの強化。
- ③ひきこもり女子会の強化、毎月開催。女子会は非常に参考になり、気づかされること大であります。

2) 寄宿生の増員計画

上記の、京都府健康福祉部 福祉・援護課・生活・就労一体型支援担当並びに宇治市福祉子ども部生活支援課とのタイアップで、京都府山城南保健所等の協力を得て、困窮者支援に基づき寄宿を強化。 京都府青少年課の「脱ひきこもり支援」事業の通所・寄宿型を強化。

3) 会員募集の計画

イベント活動を重点施策として、他の関連団体、諸大学との交流を深めながら更に多くの方の賛同が得られるよう会員募集を進めてまいります。

昨年度のイベントの開催の好評もあり、継続会員、新規会員、寄付者の増加もありました。

4) 民間 DV シェルター事業の開催計画

現在、臨時総会で定款変更の承認を受けまして、法務局で登記申請中です。登記が出来ましたら、京都府家庭支援課のご指導の下、民間 DV シェルター事業を開催いたします。